

「八幡小学校の八幡太鼓の取組」

1 学校名

薩摩川内市立八幡小学校

2 学年・人数

1～6年生（計20人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

毎月第2土曜日（土曜授業日） 本校体育館にて

(2) 発表の日時・場所

令和5年10月29日（日）学習発表会 本校体育館にて

令和6年3月22日（金）卒業式（6年生が発表）本校体育館にて

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

八幡太鼓（やはただいこ）

(2) 由来

本校に勤めていた職員が、子供たちに太鼓を教え、地域の方の前で披露したことがきっかけで発足した。この演奏を見た地域の方々からこの太鼓演奏を保存・伝承していこうという声が上がった。発足当時は大人のメンバーが約20人で活動していた。現在は、小学校で「八幡太鼓」、地域で「八幡きらめき太鼓」として受け継がれ、活動している。

(3) 構成等

締め太鼓1人が拍子を取り、それに合わせて和太鼓1台に2人が向き合って演奏を行う。

5 保存会や地域との連携の具体

地域と合同で行う学習発表会（地区文化祭）において、八幡太鼓を披露している。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

6年生にとっては、入学してからこれまでさまざまな機会に取り組み、親しんできた八幡太鼓を、卒業式で保護者や地域の方々に披露することで、今後も伝統として在校生に引きついでいけるようにしたいと考えている。また、学習発表会（地区文化祭）でも披露することで、子供たちの取組の様子を、多くの地域住民に理解してもらえるようにしている。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



【練習の様子】



【地区文化祭での発表】



【卒業式での発表】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【児童】

- ・ 初めは難しかったけど、少しずつできるようになり、うれしかった。
- ・ 上の学年の人たちに教えてもらいながら練習しているので、上手にできるようになってきた。もっとうまくなりたい。

【教職員】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、数年にわたり太鼓の練習ができなかった。その間、太鼓の指導をしていた教職員の転勤等もあり、存続が心配された時期もあった。以前は行事の前に集中的に練習をしていたが、年間を通して少しずつ練習を続けていく形（毎月1回）で行っている。

この方法での練習が定着してきており、子供同士で教え合いながら、練習に取り組んでいる。